

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	市防 - 2	市民自治推進事業	☐ 法定受託事務
所管課	地域のつながり課		評価者 地域のつながり課長 瀧澤 博
一般	会計	款 10	項 5
目 57			
総合計画上の位置付け	分野名	市民自治	施策の方針名 市民自治推進事業

1 事業の目的

対象	市民等	意図	自主的で営利を目的としない活動を支援するとともに、市民が主体となり行政と協働で地域課題を考え、解決できるようにするため。
効果	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するとともに、地域コミュニティの充実を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 (事業終了予定年度： 年度) ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	NPOセンターの管理運営、協働事業の推進、市民活動と協働を推進するための指針に基づく施策の検討・実施、つながる鎌倉エール事業の実施、市民活動推進基金管理	NPOセンターの管理運営、協働事業の推進、市民活動と協働を推進するための指針に基づく施策の検討・実施、つながる鎌倉エール事業の実施、市民活動推進基金管理	NPOセンターの管理運営、協働事業の推進、市民活動と協働を推進するための指針に基づく施策の検討・実施、つながる鎌倉エール事業の実施、市民活動推進基金管理
予算額（千円）	26,512	27,105	
国県支出金			
地方債			
その他	11,389	11,728	
一般財源	15,123	15,377	0
当初人員配置数	6.0	5.0	0.0
人件費（千円）	51,222	44,130	0
事業実績	NPOセンターの管理運営、協働事業の推進、市民活動と協働を推進するための指針に基づく施策の検討・実施、つながる鎌倉エール事業の実施、市民活動推進基金管理		
決算額（千円）	24,325		
国県支出金			
地方債			
その他	10,259		
一般財源	14,066	0	0
人員配置実績数	6.0	0.0	0.0
人件費（千円）	49,698	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標			単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	
							（上段実績、下段経費（千円））			
活1	指標名	市民活動コーディネーターの相談対応件数			件／年	100	7	100		
	実績につながる活動	NP0センターの管理運営の一環として同センターに配置した市民活動コーディネーターにおいて相談対応を実施した。						15,574		
活2	指標名	職員向けの市民協働研修の開催回数			回／年	2	2	2		
	実績につながる活動	職員に対して、協働の手法や意義、効果等を伝える研修を実施した。								

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・市民活動コーディネーターにおいて年間計100件の相談対応を実施した。 ・2級昇任者及び管理職向けの職員研修を予定通り各1回ずつ開催した。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	NP0センターの新規登録団体数	団体／年	15	7	15			1
成2	市民協働研修により協働への理解が深まった市職員数（5年間の累計）	人	28	180	28			2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトカム）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・令和7年度からNP0センターに配置した市民活動コーディネーターにおいて様々な相談対応を実施した結果、15団体が新規にNP0センターに登録を行ってくれた。 ・職員向けの市民協働研修を実施した結果、協働への理解が深まった職員が増加した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	「市民活動コーディネーターによる年間100件の相談対応を実施した結果、年間で新規登録団体数が15件あった。これは、単に窓口を開設しているだけでなく、コーディネーターが市民の漠然とした『やりたい』という想いを丁寧に整理し、具体的な活動目的や組織運営の助言を行う『伴走型支援』を徹底した成果である。 個別の相談が確実な『新規登録』というアクションに結びついており、このフロー（新規の芽）の創出が、施策指標である『登録団体総数（ストック）』の維持・向上を支える不可欠な原動力として、極めて有効に寄与していると分析する。 ・職員に対して、協働の手法や意義、効果等を伝える研修を実施した結果、28名の職員から協働への理解が深まったとの回答を得た。これは、職員の協働に対するマインドセットの醸成に繋がっており、「市民と行政との協働によるまちづくりの実現」を組織全体で加速させる基盤として、極めて有効に寄与している。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り	☒ ① 事業内容は現状通りとする		
		☐ 事業内容は見直し済	⇒ ☐ ② 事業内容は見直す	→ ☐ 拡大	☐ 縮小 ☐ その他
		☐ 事業を休止又は廃止済	☐ ③ 事業は休止又は廃止する		
		☐ 他事業と統合済	☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
方向性	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持	☒ ④ 予算規模は現状維持とする		
		☐ 予算規模は拡大済	⇒ ☐ ⑤ 予算規模は拡大する		
		☐ 予算規模を縮小済	☐ ⑥ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった	
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし	
	総評	市民活動と協働を推進するための指針に基づき、既存の施策の見直しや新たな支援施策を展開し、指針に掲げる重点施策を着実に進めていく。また、NP0センターが、市、市民や市民活動団体等の間に立ち、市民活動が円滑かつ活性化することができるように支援する組織としてより役割が果たせるよう、令和7年度から鎌倉NP0センターに配置した市民活動コーディネーターを効果的に活用していく。 令和4年度から開始したつながる鎌倉エール事業については、より多くの事業実施につながるように、スタートアップコース、地域活性化コース及び協働コースを活かし、市民活動・協働を更に推進していく。		

上位施策への寄与度

A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	NP0センター登録団体数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	346	378	304	332					
	16.9万人	44.7万人	24.5万人	25.7万人					

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方

本市の人口に対するNP0センター団体登録数は、近隣他市と比べて比較的高い水準である。今後ともNP0センターが利用者にとって利便性の高い機能を果たせるよう努め、登録団体の増加に向けて管理運営を行っていく必要がある。